

## 5 2 1 系車両の新製について

平成 30 年 12 月 20 日

あいの風とやま鉄道(株)

当社が保有する旧型車両（413 系）は老朽化し、部品調達が困難となっていることから、「富山県並行在来線経営計画概要」に基づき、2019 年度から計画的に新型車両（521 系）を新製し、切り替えることとしたい。

## 記

## 1 保有車両の現状

- ・新型車両（521 系、2 両／編成） 1 7 編成
- ・旧型車両（413 系、3 両／編成） 5 編成（うち 1 編成は、観光列車に改造）

## 2 車両更新計画

- ・新型車両 521 系について、2019 年度～2022 年度の 4 ヶ年で計 4 編成を新製する。  
（毎年 1 編成ずつ）
- ・旧型車両については、観光列車に改造中の 1 編成とイベント列車 1 編成を除く計 3 編成を 2021 年度から順次廃車する予定。

## &lt;新型車両（521 系）の概要&gt;

- 1 編成あたり 2 両、定員約 250 名、座席数 88 席＋補助席 20 席、交直両用電車  
車イス対応洋式トイレ、車内案内表示（6 ヶ所）、車体行先表示（6 ヶ所）などを整備
- 製造費（予定）：1 編成あたり 5 億円（税抜）
- 財 源（予定）：1/3 国補助（2019 年度分の支援について国へ要望中）  
2/3 富山県並行在来線経営安定基金

## 3 切り替えによる効果

## (1) 安全性の向上

- ・車体強度の向上（腐食しにくいステンレス、衝撃吸収構造の採用）
- ・乗務員への支援装置の充実（車両異常挙動感知装置やドア誤扱い防止装置の導入）

## (2) 快適性や利便性の向上

- ・走行音と振動の低減
- ・自動制御方式による快適な車内温度の設定
- ・車イス対応洋式トイレ設置によるバリアフリー化の推進

## (3) 維持管理コストの削減等

- ・使用電力量や車両検修費等の維持管理コストの削減
- ・メンテナンスの負担軽減

## (4) 外国人旅行客の旅行環境の向上

- ・次停車駅名等の車内案内表示及び車体行先表示の英語表記、英語による車内案内放送